

鳥取県中部を舞台に6月5、6日に開かれる「日本海未来ウォーク」。多くのボランティアに支えられ、全国のウォーカーたちの間でも評判の大会に発展したこの大会は今年、第10回の節目を迎える。記念大会として「日韓ピースウォーキング」などが計画され、「ウォーキング立県」目指してさらに大会の充実を図る。



韓国国際ウォークに参加したNPOのメンバーら＝2009年10月、韓国

新編された日本海未来ウォークの横断幕  
倉吉市宮川町



問い合わせは電話0858 (22) 8999、未来ウォーク実行委員会へ。メールアドレスはwkenry@npo-mirai.netへ。

いよいよ本大会は鳥取県の「ウォーキング立県19」のまちを歩こう事業の初めての認定大会となる。遠藤公憲実行委員長は「県中部医師会と協力し、子どもの歩育を進める取り組みも広げている。ウォーキング立県に向けて新たなスタートを切ることにした未来ウォークで、地域の活力と元気を生み出した」と笑顔を見せる。

22-5-31

# 歩こう！輝く明日へ

## 5、6日中部舞台に 第10回日本海未来ウォーク

まちづくりに貢献  
未来ウォークは、有志数人による実行委員会によって2001年にスタート。第4回大会からは、実行委員らによって設立されたNPO法人未来が大会を運営し、現在は日本ウォーキング協会のオーガニゼーション認定大会に

### 日韓・ピースウォーキングも

もなっている。昨年は北海道から九州まで2日間延べ3千人が参加、日本海を一周したコース設定で、全国のウォーカーに呼びかけ、未来ウォークのNPO法人未来も、今や子どもの健全育成、文化・芸術、スポーツなど幅広い分野に招待を受ける。その後毎年、同大会に参加し、韓国の大韓ウォーキング連盟(李康玉理事長)との交流も深めていった。これにより、今年大会で「第10回日韓ピースウォーキング」の開催が実現することになった。

また、大会の実績が評価され、未来のメンバーは2004年、4万人以上が集まる韓国国際ウォーキング大会に招待を受ける。原州市をスタートし、歩いて東海港から環日市へ。そこから5日間



町並みを楽しみながらウォーキングする参加者＝2009年6月、倉吉市

### まちを元気に

かけて約80kmを歩き、未来ウォークのメイン会場は倉吉市宮川町を歩きます。

### 最近ウォーキング

ファッショにも注目されている。今や全国に約4千万人いると言われるウォーキング愛好者。おしゃれなファッションに身を包み参加者も増え、ウォーキングへの関心を一層高めている。

未来ウォークの特徴の一つは、中高生を中心としたボランティアスタッフ。延べ500人が参加者をサポートし、当日はもちろん大会後も直筆で参加者全員にお礼のメッセージを出すなど、参加者に喜ばれている。中高生にとっては、人材育成の場ともなっている。